

三島梅花藻の里・第2回 環境整備構想ワークショップ

南本町・三島梅花藻の里と西隣の湧水地

「水の都・三島」の清流のシンボルであるミシマバイカモは、昭和39年頃から湧水の減少と水質の悪化により、市内の川から姿を消してしまいました。そこで、この貴重な水中花を復元・育成すべく、グラウンドワーク三島は、平成7年に（公財）佐野美術館所有の湧水地を借り、「三島梅花藻の里」として維持管理を進めてきました。



しかし、平成26年、「三島梅花藻の里」の水源である隣接地が不動産業者に買収され、宅地分譲による埋め立てにより消滅の危機にさらされました。



この状況を解決すべく、グラウンドワーク三島では「泉トラスト運動」を立ち上げ、募金・署名活動を実施してきました。

その結果、多くの皆様のご協力をいただき、三島市が隣接地を買収し、親水公園として整備される見通しが立ちました。

そこで、「三島梅花藻の里」と隣接湧水地とが連担した土地を親水公園として整備するための整備構想や今後の利活用を考えるワークショップを開催いたします。

関心のある方は、是非とも参加して、色々なアイデアを提案してください。



1. 日時 平成27年11月21日（土）午後1時30分～午後4時
2. 場所 三島市民文化会館3階 大会議室（三島市一番町20-5）
3. 講師 渡辺 豊博（グラウンドワーク三島専務理事、都留文科大学教授）
4. 内容 三島梅花藻の里と西隣の隣接湧水地の環境整備構想と今後の利活用案の検討
第1回ワークショップの検討事項のブラッシュアップ
5. 申込み 不要。直接会場にお越しください。
6. 主催 NPO法人 グラウンドワーク三島



渡辺 豊博（農学博士）

静岡県庁職員を経て、2008年4月より都留文科大学文学部社会学科教授。1992年、故郷・三島市の水辺環境改善を目的として、市民・NPO・行政・企業がパートナーシップを組む、英国で始まったグラウンドワーク（環境改善活動）を取り入れたNPO法人グラウンドワーク三島を立ち上げ「水の都・三島」の地域再生を実現。地方創生で注目の徳島県上勝町や神山町、英国・韓国・台湾などの地域づくりに詳しい。



NPO法人グラウンドワーク三島 事務局（担当：美和・山本）

〒411-0857 静岡県三島市芝本町7-11 TEL 055-983-0136 FAX 055-973-0022

Eメール info@gwmishima.jp URL <http://www.gwmishima.jp/>

※「栗井英朗環境財団公募助成」と「積水ハウスマッチングプログラム」の一環で実施します。